

2027（令和9）年度

東京大学文学部学士入学学生募集要項

1. 出願資格

- (1) 大学を卒業した者及び2027（令和9）年3月31日までに卒業見込みの者。
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び2027年（令和9年）年3月31日までに授与される見込みの者。

2. 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験（①外国語、②専門科目、③小論文）・口述試験・出身学校の学業成績による。

3. 募集する専修課程、募集人員及び筆記試験科目

学科	専修課程	募集人員	筆記試験科目		
			外国語	専門科目	小論文
人文 学科	哲 学	合計 10名	英・独・仏のうち2か国語	哲 学	共 通 問 題
	中国思想文化学		英語・中国語（ともに必須）	中国思想文化学 （中国哲学）	
	インド哲学仏教学		英語は必須、独・仏・中のうち1か国語	インド哲学仏教学	
	倫 理 学		英・独・仏のうち2か国語	倫 理 学	
	宗教学宗教史学		英・独・仏・露・伊・中・西・韓のうち2か国語	宗教学宗教史学	
	美学芸術学		英・独・仏・露・伊・中・西・韓のうち2か国語	美学芸術学	
	イスラム学		英語は必須、独・仏・露・伊・中・西・韓のうち1か国語	イスラム学	
	美術史学		英・独・仏・伊・中・西のうち2か国語	美術史学	
	中国語中国文学		英語・中国語（ともに必須）	中国語学中国文学	
	インド語インド文学		英語は必須、独・仏のうち1か国語	インド語学インド文学	
	ドイツ語ドイツ文学		独語は必須、英・仏・露・伊・西のうち1か国語	ドイツ語学ドイツ文学	
	フランス語フランス文学		仏語は必須、英・独・露・伊・西のうち1か国語	フランス語学フランス文学	
	スラヴ語スラヴ文学		露語は必須、英・独・仏・伊・西のうち1か国語	ロシア語学ロシア文学	
	イタリア語イタリア文学		伊語は必須、英・独・仏・露・西のうち1か国語	イタリア語学イタリア文学	
	現代文芸論		英・独・仏・露・伊・西のうち2か国語	現代文芸論	
西洋古典学	英語は必須、独・仏・露・伊・西のうち1か国語	西洋古典学			

4. 出願手続

(1) 願書受付

- ア. 方法 出願は、郵送に限る。
郵送にあたっては、「提出書類等」を一括して角2封筒に入れ、
下記の宛先まで簡易書留郵便で送付すること。
その際、封筒の表側下部に志望する専修課程名・応募者の氏名・
応募者の住所を横書きで記入し、また宛名の左側に赤字で
「学士入学願書在中」と記入すること。上記以外の出願は、受け付けない。

宛先: 〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目3番1号
東京大学文学部事務部学生支援チーム (学部担当)

- イ. 期間 2026 (令和8) 年10月13日 (火) から10月19日 (月) まで。
(ただし締切後到着分については10月19日 (月) の消印があるものまで受け付ける。)

- ウ. 問い合わせ先 東京大学文学部事務部学生支援チーム (学部担当)
電話 03-5841-3713

(2) 提出書類等

*印は、本学部所定のものを用いること。

*入 学 願 書	志望する専修課程名を必ず記入すること。
*学士入学受験票	受験外国語は、あらかじめ選択し、記入すること。
成 績 証 明 書	出身学校において、所要事項が記入されていること。 高校卒業後、現在までに在籍した (している) 全ての短期大学、 大学、大学院について提出すること。
卒業証明書又は 卒業見込証明書	成績証明書に卒業年月日あるいは卒業見込年月日が記載されて いる場合は不要。
受験票送付用封筒 (返送用封筒)	長3の封筒に出願者本人の郵便番号及び宛先・宛名を記入し、宛 名の左側に赤字で「受験票在中」と記入する。簡易書留郵便料金 分の切手 (460円分) を貼付する。 ※郵便料金は改定の可能性があるため、最新の情報を確認のこと。
*検 定 料	30,000円 (銀行振込に限る。) 所定の振込依頼書に必要事項を記入のうえ、最寄りの金融機関 (ゆうちょ銀行・郵便局不可) から振り込むこと (ATM、インタ ーネット等は利用しないこと)。振り込みの際、振込金受取書 (B 票) 及び検定料振込金受付証明書 (C票) を受け取り、検定料振 込金受付証明書 (C票) を学士入学受験票の所定欄に貼り付ける こと。

※ 改姓により入学願書と成績証明書等の氏名が異なっている場合は、改姓名の事実を確認できる
公的機関が発行した証明書 (戸籍抄本等) を併せて提出すること。

※ 証明書は原本 (紙媒体) を提出すること。

5. 受験票送付

「受験票」「受験者心得」等は、11月下旬に本人宛郵送する。

2026（令和8）年11月30日（月）までに到着しない場合は、下記に連絡し、受験に必要な指示を受けること。

連絡先 東京大学文学部事務部学生支援チーム（学部担当）
（電話 03-5841-3713）

6. 試験期日及び場所

- (1) 第1次試験（筆記） 2027（令和9）年1月23日（土）
場所、その他詳細は、郵送する「受験者心得」による。
- (2) 第2次試験（口述） 2027（令和9）年2月5日（金）
場所、その他詳細は、第1次試験合格発表時に案内する。

7. 合格者の発表

- (1) 第1次試験（筆記）に合格した者の受験番号は、2027（令和9）年2月4日（木）正午に、文学部掲示場及び文学部ホームページに掲示する。（なお、第1次試験合格者の受験番号は、2027（令和9）年2月12日（金）17時まで掲示する。）
- (2) 第2次試験（口述）は、上記日程で第1次試験（筆記）合格者についてのみ行う。
- (3) 入学許可を内定した者の受験番号は、2027（令和9）年2月19日（金）午前10時に、文学部掲示場及び文学部ホームページに掲示する。
- (4) 入学手続書類は、2027（令和9）年3月上旬頃、本人宛に郵送する。
- (5) 入学時に必要な経費（2027（令和9）年度予定額）
 1. 入学料 282,000 円（予定額）
 2. 授業料 前期分 321,480 円（年額 642,960 円）（予定額）上記納付金額は予定額であり、入学時又は在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

（参考）2026（令和8）年度文学部学士入学試験実施状況

志願者数	受験者数	合格者数
40 人	28 人	9 人

8. 注意事項

- (1) 外国語は、各専修課程の指定する外国語の試験科目のうちから、あらかじめ選択して入学願書及び受験票の「受験外国語」欄にそれぞれ記入すること。あらかじめ届け出た外国語以外の外国語を受験した場合は無効となる。
- (2) 外国人の出願者は、母語を除き2か国語（そのうち1か国語は日本語）を受験しなければならない。ただし、日本の高校を卒業した外国人については、日本人と同じ条件で受験しなくてはならない。
- (3) 外国において大学を卒業した者は、出願手続きの前に出願資格の確認をするので、2026（令和8）年9月18日（金）までに文学部学生支援チーム（学部担当）に連絡をして指示を仰ぐこと。
- (4) 提出日までに所定の書類が完備しない願書は受理しない。また出願手続後は、どのような事情があっても、内容の変更は認めず、また、書類の返却はしない。
- (5) 試験の成績によっては、募集人員に達しない場合でも、入学を許可しないことがある。
- (6) 合格・不合格に関する問い合わせには、一切応じない。
- (7) 官公庁、企業、団体等に在職のまま入学を希望する者は、2026（令和8）年9月18日（金）までに文学部学生支援チーム（学部担当）に連絡すること。また、入学手続きの際に、在学期間中学業に専念させる旨の勤務先の長の承諾書（様式任意）を提出すること。
- (8) 本学では、障害等のある者が、受験上及び修学上不利なことがないように、合理的な配慮を行っており、そのための相談を受け付けている。受験上の配慮を希望する者は、2026（令和8）年9月18日（金）までに文学部学生支援チーム（学部担当）に申し出ること。なお、上記期日を過ぎての申出についても引き続き配慮検討の対象となるが、事前準備の関係で、申請が遅くなるほど、実際に提供できる受験上の配慮が限定されるため、なるべく早く連絡すること。（詳細は学部ホームページ <https://www.l.u-tokyo.ac.jp/> 参照）
- (9) 外国人は、入学手続までに「出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）」において大学入学に支障のない在留資格を有すること。
- (10) 出願手続後は、どのような事情があっても、検定料の払い戻しはしない。
- (11) 入学を許可された者の卒業に要する修業年限は、2年とする。
- (12) 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。また、同個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請、図書館の利用等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。

2026（令和8）年7月